

オリジナルサイト仕様書

・タイトル

OPNET

・テーマ

自分のクローゼットをもったアパレル EC サイト

・ベネフィット

自身の購入履歴・お気に入りを一覧として表示させることで自身の持ち物と比較して洋服を購入する事ができる。

購入のためだけの EC サイトではなく自分の洋服を確認できる。

・概要

xml に商品情報を記述し商品情報を表示させる

実際に購入は出来ない

・サービス説明

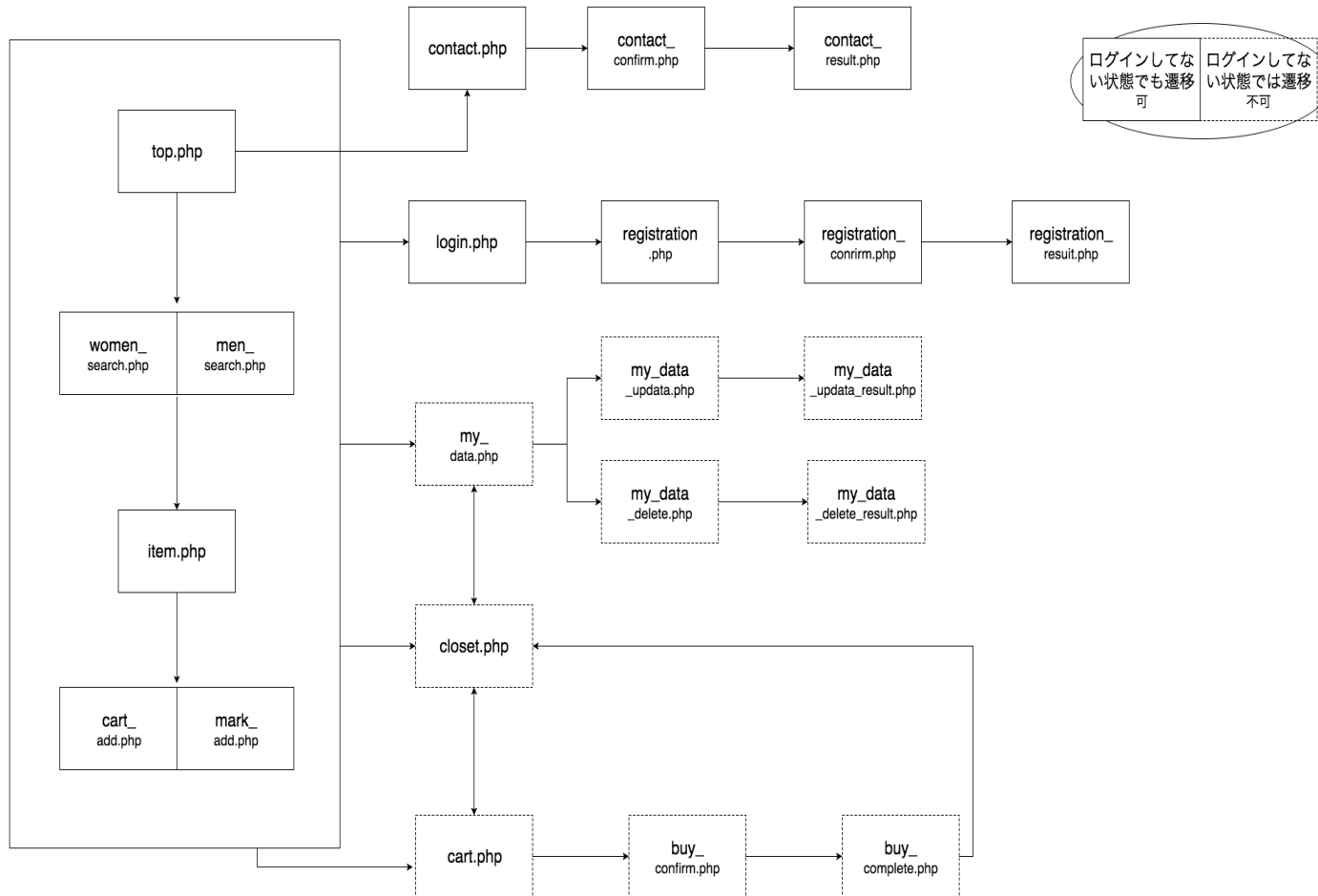
今回のオリジナルサイトは一画面で現在検討中の商品と、過去の商品購入履歴を照らし合わせながら購入を進められる EC サイトです。

買い物をし、実際に家に帰ってみたら同じようなものを買っていた！

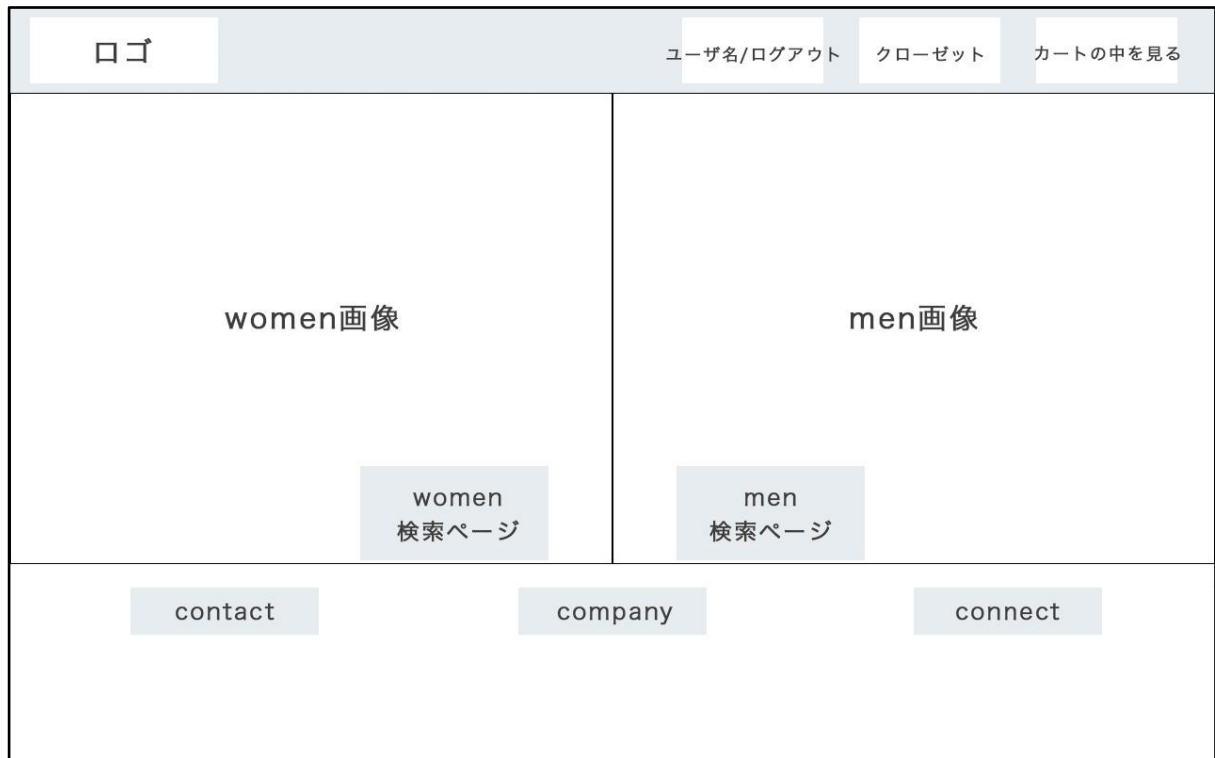
なんてこともあるはずです。

そんな日常での無駄な出費を抑えながら、ショッピングを楽しめます。

画面遷移



top.php



- トップページ。
- レディース検索ページ、メンズ検索ページに遷移できる。
- お問い合わせに遷移できる

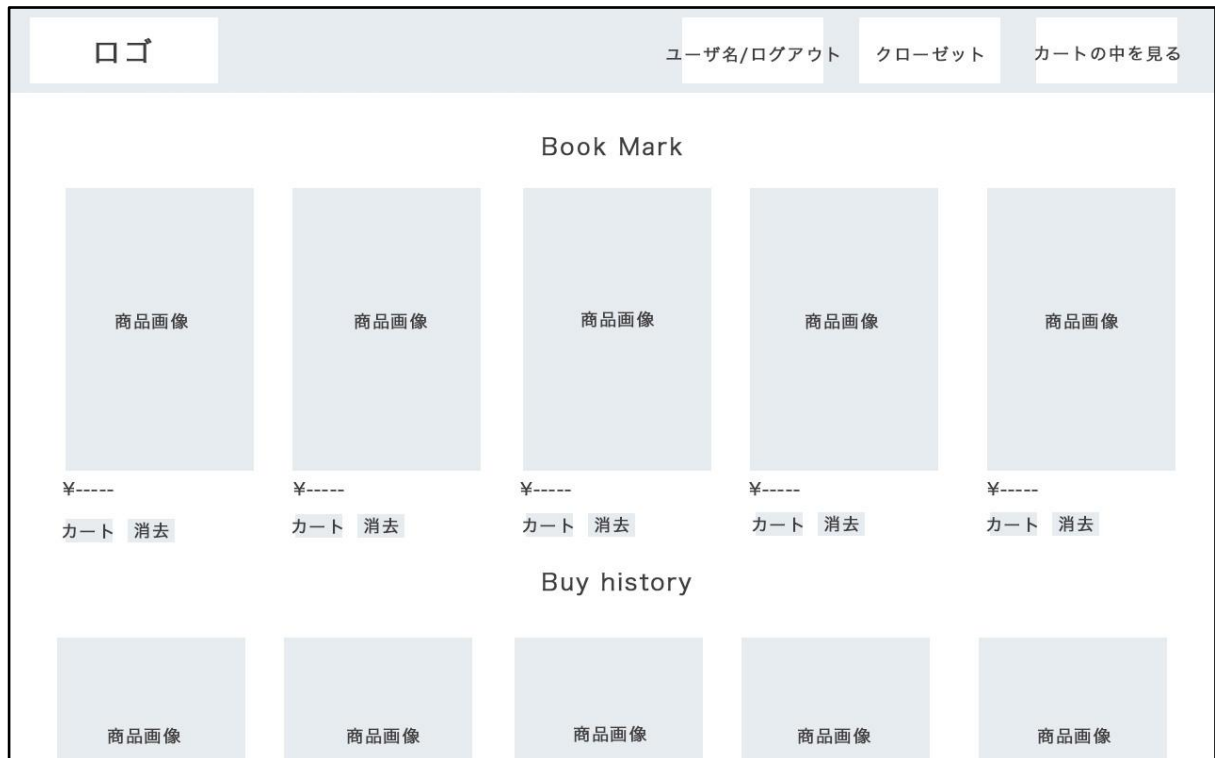
women_search.php

men_search.php



- 検索結果ページ
- レディース検索ページ、メンズ検索ページに遷移できる。
- top から検索により遷移できる。
- 商品カテゴリー検索により、検索結果を表示
- 画像と、その上に商品名、下に金額が載っている。クリックで item へ

closet.php



- メインページ
- お気に入り、購入履歴を閲覧できる
- お気に入り商品をカートに追加、消去ができる

- item.php
 - 商品詳細ページ
 - serch、cart、closet から遷移できる。商品コードを受け渡す
 - 商品説明が表示される
 - 「カートに追加する」、「お気に入り」ボタンがあり、クリックすると cart_add.php、mark_add.php に遷移する。
- cart_add.php
 - カートに追加ページ
 - 商品の情報を受け取り、セッションに追加する
 - 画面には「カートに追加しました」という文言が出てくる
 - ログインしていない状態ならばログインページに遷移
- mark_add.php
 - お気に入り追加ページ
 - 商品コードを受け取り、データベースに追加する
 - 画面には「お気に入りに追加しました」という文言が出てくる。
 - ログインしていない状態ならばログインページに遷移

● login.php

- ログイン管理ページ
- どのページからも遷移できる。ログインしているかいないかで処理が分岐する
- ログインしていない状態(各ページの「ログイン」というリンクから)で遷移してきた場合は、ユーザー名とパスワードを入力するフォームが表示される。また、「新規会員登録」というリンクも表示される。
- ログインに成功すると、その情報をログイン状態を管理できるセッションに書き込み、そのまま直前まで閲覧していたページに遷移する
- ログインしている状態で(各ページの「ログアウト」というリンクから)遷移してきた場合は、ログアウト処理を行う(セッションの破棄、クッキーに保存されたセッション ID を破棄)
- ユーザーデータの削除フラグが 1 の場合は削除されたユーザーとして処理されている

- registration.php

- 新規会員登録ページ
- login からのみ遷移
- フォームがあり、入力するのは以下の要素

ユーザー名

パスワード

メールアドレス

郵便番号

住所

- registration_confirm

- フォームで入力された文字や選択を表示し、「はい」で registration_complete 「いいえ」で registration に値を保持したまま(戻った時にフォーム入力済みになっている)遷移
- もし不足していた場合はどの項目のデータが不足しているのかを表示。insert に値を保持したまま遷移するリンクを表示

- registration_complete.php

- プロフィール用の DB に値を挿入。この際、現在時(年日時分)を組み込み関数で取得し、追加。
- 「以上の内容で登録しました。」と registration_confirm のようにフォームで入力された値を表示
- 「トップページへ戻る」のリンクが、設置されている

- cart.php

- 「カートに追加」でセッションに保存された登録情報が登録
古い順に表示される
- 商品の写真と名前(リンクつき)、金額を表示。
- 画面下部に全額の合計金額を表示する
- 「購入する」ボタンあり
- 各商品には「削除」のボタンあり。このリンクをクリックすることで、カートから商品を削除する
- 「カートを空にする」ボタンあり。このボタンをクリックすることでカートの中を一気に空にできる

- buy_confirm.php

- 購入確認ページ
- カートに追加順で商品の名前、金額が表示される
- 合計金額が表示され、その下に支払い方法を選択するラジオ
ボタンがある。
- 「この金額で購入する」ボタンがある。

- buy_complete.php

- 購入完了ページ
- 購入データを保存
- 総購入金額を更新
- 「購入が完了しました」と表示

- my_data.php

- 登録したユーザー情報が閲覧できる
- 登録情報を更新する、削除するリンクあり

- my_update.php

- フォームから入力するデータで既にあるデータを更新できる
- 画面構成は registration.php と同じ。フォーム内に直接記入された状態である。このフォームの内容を書き換えていくことでデータの更新ができる
- 送信ボタン付き

- my_update_result.php

- ID などを受け取り、DB を更新。
- 「以上の内容で更新しました。」と、フォームで入力された値を表示

- my_delete.php

- ユーザー削除確認ページ
- 対象のレコードの全データを表示。「はい」と「いいえ」が直リンクとして設置してある。「はい」なら my_delete_result.php へ、そうでないならトップページへ遷移する

- my_delete_result.php
 - ここにアクセスした段階で、ID による削除が実行される(外部キー制約により直接 DELETE は出来ないので、削除フラグを 0 から 1 に変更する)
 - 「削除しました」という一文が表示される

- contact.php
 - お問い合わせページ
 - お名前、フリガナ、メールアドレス、電話番号、性別、お問い合わせ項目、お問い合わせ内容を入力する
 - 「確認画面へ」ボタンをクリックで contact_confirm.php に遷移できる

- contact_confirm.php
 - お問い合わせ確認ページ
 - お名前、フリガナ、メールアドレス、電話番号、性別、お問い合わせ項目、お問い合わせ内容の入力内容を表示
 - 「送信」ボタンがあり、クリックすると contact_result.php に遷移できる

- contact_result.php
 - お問い合わせ結果ページ
 - 入力内容をデータベースに追加

- scriptUtil.php

- よく使うユーザー定義関数をまとめておく
- 例えば、トップへのリンクを挿入する処理をまとめておけば、すべてのページでこのリンクを使用するときにそのユーザー定義関数を挿入するだけでよくなる

- dbaccessUtil.php

- データベースアクセス系のユーザー定義関数を格納する

- defineUtil.php

- システム内で使われる具体的な定数(top ページなどの URL や、MySQL ユーザー名、パスワード)などをまとめて定義しておく場所。ここで定義しておき全.php で require すれば、いちいち変数を宣言する必要がなくなる

user_t

カラム名	userID	name	password	mail	postal	addresses	total	newDate	deleteFlg
論理名	ユーザ ID	ユーザー名	パスワード	メールアドレス	郵便番号	住所	総購入金額	登録日時	削除フラグ
データ型	int(主キー,AUTO_INCREMENT)	varchar(255)	varchar(255)	varchar(255)	int	text	int	Datetime	int(初期値0)

buy_t

カラム名	buyID	userID	itemCode	type	amout	buyDate
論理名	購入 ID	ユーザー ID	商品コード	発送方法	購入金額	購入日時
データ型	int(主キー,AUTO_INCREMENT)	int(外部キー)	varchar(255)	int	int	Datetime

mark_t

カラム名	userID	itemCode
論理名	ユーザーID	商品コード
データ型	int(外部キー)	varchar(255)

contact_t

カラム名	userID	name	furigana	email	tel	gender	item	content	newDate
論理名	ユーザ ID	ユーザー名	フリガナ	メールアドレス	電話番号	性別	お問い合わせ項目	お問い合わせ内容	登録日時
データ型	int(主キー,AUTO_INCREMENT)	varchar(255)	varchar(255)	varchar(255)	int	text	varchar(255)	varchar(255)	Datetime